

【第二回検討委員アンケート結果】

資料4

No.	所属	氏名	行政の役割	民間企業の役割	市民の役割	自身が関与したいこと	商店街再生
1	一般社団法人 鴨川市観光協会	鈴木 健史	予算措置、枠組みの決定、委員会の運営	委員会決定事項における実現の協力	委員会における提案及び実行	全面的に協力します。関係他社への働きかけ、枠組みの決定プロセスでの協力、自社ホテルにおける対応等、できることは何でも致します。	②に賛成。商店街と言っても住宅でもあり、居住権や地権の問題を解決できない。そのエネルギーは他に振り向けないと現実的なプロジェクトの推進は困難であると考えます。
2	鴨川市観光協会	藤巻武仁	核となる人材および組織の確立。行政組織において横断的な権限を持ち目的に特化した人材および組織（チーム）の編成。核となる人材の登用（上部行政組織や一般企業からの招聘）。	海岸エリアの活性化を主眼とし、これに関わる事で利益に繋がることであれば民間としては協力しやすい。	観光客への「おもてなし精神」の醸成。	事業として成り立つものであれば、参加、協力したい。	現状、マリナ後背地に活用し集客力のある施設をつくり顧客の流れができれば、その近隣にある旧商店街も必然的に活性化していくものと考えます。
3	鴨川市商工会	清水 宏	・「都市計画」づくりと「企業誘致施策」	・第1次から第3次産業（生産、加工製造、流通、販売、サービス、情報、金融）の地元産業並びに企業誘致事業者等が連携を深め、地域資源の活用を図れる「地産地消」的な関係を保つ努力と情報の共有により、地域住民・来訪者ごとの対応を考えた、オリジナリティーある「鴨川スタイル」のおもてなしを確立し、地域のにぎわいを取り戻す。	・地域住民の自主的なコミュニティづくり。自分たちの町は住んでいる住民が責任を持って作り上げ、維持管理を担い、住民の共有財産としての街並み・自然景観を保ちつつ、来訪者の受け入れに積極的にかかわられる雰囲気づくりを行い、自分たちの町である「鴨川」に郷土愛と誇りを持つコミュニティに育てる。	・コミュニティや地域づくり。空き店舗活用対策の事業化。地域資源の利活用。	・考え方②各々の店舗（個店）を存続させるのではなく、商店街という機能を再構築する考えで取り組むべきだと思います。単なる「空き店舗対策」では無い、地元生活者、来訪者への利便性や必要な機能を取り入れた、必要な場所に最適な店舗を配置し、魅力ある商店街づくりを目指す。「鴨川での生活スタイルを売る商店街」づくり。
4	鴨川市商工会	福田 雄一郎	役割…大まかな枠組み作り 市外からの企業、スポンサー誘致 公的なPRの発信 期待する取り組み…市役所内の横断的な専従チームの結成、またその組織強化	役割…枠組みの中と外からの活性化 期待する取り組み…エリア内から発信する新商品、新ブランド、イメージ作り等、エリア外からのコラボレーション	役割…エリア活性の活力財、SNS等の草根PRの期待 期待する取り組み…同じくSNS等の草根PRの期待、イベントボランティア、ただ初めはイベント等での自発的な動きは期待しずらく、まず行政や市内団体を呼び水とした方がいい	商工会という団体の特性から商品開発、PR等で協力していきたい	-
5	鴨川市漁業協同組合	徳山英樹	市民、企業との重要なパートナーであり、地域の強みを活かした取組、ブランド力を持った商品、サービスの開発等	民間企業の得意とする分野を活用した取組	同じ認識のもと、一丸となって鴨川市を盛りあげる。	イベント等への協力	①非常に難しいと思われます。②可能だと思えます。駐車場の整備も同時に行うなどして
6	鴨川温泉旅館業協同組合	久根崎達郎	いち早い構想の確定、計画の策定並びに実施。一事業体の大型施設の施設ではなく、市内の民間企業が多く参加可能な構想であり、市民と観光客双方に魅力のあるエリアになることが望ましい。問4の回答と重複しますが、新しい商店街が、海岸通りに出来上がるように考えてほしいが、エリア全体を考えると商店街のみにこだわることなく、現況ならびに近未来のニーズに合った多様な要素をもったエリアとなるよう、構想をたたえていただきたい。そしてまた実施に向けての計画づくりにいち早く取り組んでほしい。	構想がはっきりしない中で、民間企業の立ち位置を質問されても答えに難しいです。	同上	これだけとは思っていませんが、観光客、宿泊客の増員につながる事業の選択、実施に向けての関与をしていきたいと思えます。	② 現況の商店街を新町通りと想定します。新町通りの賑わっていたころは、旅館街（本町通り）に隣接していたこと、大型店がなかったという背景があります。観光客、宿泊客がここに訪れる要素を作っていくには、課題が多すぎるのでは。また市内の新しい住宅地からも遠く、市民からみても買い物するに魅力のあるエリアではなくなっている。
7	鴨川ライフベニングクラブ	水谷好伸	海岸エリア活性化の牽引役である 海岸エリア活性化は今後鴨川市の大生命線になると思いますので行政は それに伴い独立した課をつくる事を希望期待します	問4の②の海岸エリアに商業施設・商店街建設に協力参加を期待します	市民の役割との質問は？ 市民の皆様にも積極的な参加協力を期待します	※鴨川ライフベニングクラブとしては 海岸エリア活性化に伴うイベントへの参加協力 ※問4②の商店街を作りにあたり参加協力したい	②です 海岸エリア活性化の為に商店街をつくる事で 民間企業 市民の一体化をはかれるのではないかと

No.	所属	氏名	行政の役割	民間企業の役割	市民の役割	自身が関与したいこと	商店街再生
8	鴨川シーワールド	齋藤 哲二	・民間企業、市民を含めた「オール鴨川」で取組む為の、仕組み作り。 ・関係者の意見を反映することは勿論であるが、市独自の考えも発信しリーダーシップを発揮すべき。	・民間企業として「行政任せ」の体質では無く、行政では出てこないアイデア・発想等で、「魅力ある街づくり」を創造する。	・従来の「行政任せ」の体質では無く、自らも積極的に参加して、「未来の鴨川」を造る意識で取組んで欲しい。	・当施設（シーワールド、シーワールドホテル）は鴨川にお越し頂く観光客の一番の集客施設と考えておりますので、何らかの依頼があれば協力は惜みません。方向で考えております。但し当社及び水族館業界の理念に叶わない場合には協力出来ないこともありますので事前に相談頂きたいです。	鴨川市の取組は本プロジェクト以外にも同時進行しているため、バラバラに行うのではなく、全体のデザインを描くことで上記2点を判断すべき ①の場合、現時点で借用等の可能性について事前調査を先に行った方が良い。①がダメなら②で考えるしかないのだから・・・
9	一般社団法人 鴨川青年会議所	菅原 明善	住民や観光客に向け、このプロジェクトの周知と広報活動。保守派の住民をも巻き込んだ形で一致団結し、同じ方向を向かせる仕組み。中長期的な大規模な予算組み。シンポジウムなどの開催。インフラの整備。	鴨川のPR活動や、オリジナル商品の開発。飲食店などのお店同士のネットワーク。接客対応の向上。シンポジウムなどの積極参加。	SNSなどでの拡散。観光地としての意識づくり。シンポジウムなどの積極参加。ボランティア活動への積極参加。	情報の拡散。会議への参加。行政への協力。イベント協力。	賛否あると思うが、私は②の考えを前提で話します。シャッター街に2、3店舗再生したところで相乗効果も薄いと思う。新たな注目される施設内での商売の方がはるかに相乗効果が生まれると思う。しかし今のままをそのまま移転するのではなく、時代に合ったコンセプトを要求することも大事かと思う。本場に現在の場所で商売を続け、自分たちで良くしていきたいと本気で考えているのであれば、現状は違っているのではないかと考えざるを得ない。現在の場所、新転地どちらにしても、地元の間企業に頑張ってもらいたいと思う。あくまでも地元企業の再生を優先的にしていかなければ賛同を得ることも難しいと感じるし、外部から来た企業が占有してしまえば更にシャッター街が増えるだけと懸念してしまう。
10	鴨川ライオンズクラブ若獅子支部	立野健児	①生活している住民が安心安全に過ごせることが第一、そのために公共のサービスを施す。②公衆トイレの改良、駐車場の整備は優先課題だと思います。③国内からの観光客を増やすことはもちろんですが、今後は「海外からの観光客」を増やすことも大事になってくると思いますので、海外からの旅行者に鴨川に来ていただくための施策を考える必要もあると思います。	①鴨川市に観光客を呼び込むイベント等に積極的に参加する。②民間企業として海岸エリアの活性化を考えた場合、鴨川シーワールドの存在、位置づけが非常に大きくなってきておもしろい。	住民に多くを期待するのはむずかしいと思いません。清掃活動等に協力してもらいたい程度では。	海岸エリアでのイベント（食の祭典/歩行者天国/ゴミゼロ運動など）には今後も団体として参加していきます。	昔ながらの商店街としての復活はむずかしいと思いますが、例えば「食べ歩き、街ブラ」ができるエリアをコンセプトにすれば現在の場所でも再生は可能なのでは。
11	鴨川サーフィンクラブ	川井 幹雄	活性化させるためには、人が集まらないといけない（来てもらう）	名物・目玉となる棧橋を作る（テトラポットまでつり橋とか！！）	-	鴨川にはきれいな海そして波を間近に見られるのは棧橋 高さ20メートルくらい	②新たに商店を作る
12	健康づくり推進協議会	村永信吾	鴨川市のあるべき姿(ブランドイメージ、コンセプト)が確定したら予算化をはかり、加えて市民のコンセンサスを得るための取り組みを推進する。市民が主体者である意識をいかに高めるか？学校教育場面から積極的に街づくりに参加させる機会を作る。また話は変わるが、山から見る鴨川の景色もいい。一戦場公園に加えて、山から鴨川を一望できる展望所などの開発も眼下に見える海への期待を想像させる。記憶に残るルートづくりも大切、	個々の企業は、それぞれの創造力を発揮しつつも鴨川ブランドの多少の統制は必要。各種関連業種毎でも意見を出し合うことが大切。	一人一人が主役である意識づくり。特に今後鴨川での定住を計画している方々にとって、そこでの活躍の場や役割が見えないと定住も長続きしない。市民が参加（ボランティア）し、役割、仲間作りが大切。空き家対策は、市民一人一人の意識が大切。	鴨川は、東京から2時間弱で、海、山に恵まれ、農業、漁業、酪農など充実しており地産地消が可能。さらに先進医療を有する総合病院や介護・福祉等も充実している。①海外からの積極的なメディカルツーリズムとして人間ドックと観光融合プログラム、②国内健康者における2-3週間滞在型の保養プログラム、③身体が不住でも旅行に行ってみたい、リフレッシュしたいと思われる方々が安心して鴨川へ観光に来ることのできるプログラム、④一泊または日帰りでのリラクゼーションとアクティビティ企画立案（現時点で自分の能力を超えています・・・）	非常に難しいところです。基本は、①と考えます。しかし、津波の問題や車での移動を考えると現状での受け入れ要領には限界も感じますが、移転する場所も思いつかない。

No.	所属	氏名	行政の役割	民間企業の役割	市民の役割	自身が関与したいこと	商店街再生
13	鴨川ガイド協会	原田 洋美	①地域・地域住民の潜在ニーズの発掘 ②それを具現化するための計画の策定 ③専門知識・公的サービスの提案・外部への発信 ④当事者意識 ⑤積極性・主体性	①人材・資源・資金の提供 ②地域社会への貢献に対する意識	①地域活性化策への参加 ②計画への継続的な関与・進捗状況の確認 ③相互協力の風土づくり	(ガイド協会会員として) フロントエリアに事務所をおき、ガイド活動事業を行う。 伝統文化・生活文化等、古き鴨川の伝承及び、ビーチエリアの自然環境の保全等の地域貢献活動も行う。	現在の場所での商店街の再生は難しいと考える。しかし、新たな場所への移転を促すことはそれ以上に難しいのではないかと思う。
14	城西国際大学	渡辺 淳一	■基本的方向や基本計画を策定する ■民力が活躍できる環境づくりが行政の大きな役割 ■必要に応じて法的支援や関連情報の提供	■全体のコンセプトに沿って活動をし、持続的発展に寄与する ■ビジネスマインドに基づいた貢献を期待したい	■まちづくりの主体的役割を期待したい ■必要に応じてボランティア支援を	学生とともに、長期的に調査等に関与していきたい	もっと勉強してコメントしていきたいと思う。ただし、既存の再生が望ましい。
15	城西国際大学	内山達也	住民参画の場を作り出すこと、総合プロデューサーとして地域全体のまちづくり計画を支援していくこと	おもてなしを醸成する機会を提供	自分たちの街であり、自分たちが作り上げていく意識、観光まちづくりに参画していくという意識の醸成。地域プロデューサーとして。観光の街としての「おもてなし」の醸成。「おもてなし」とは具体的に何かということを確認していくことが大切で、鴨川市の「おもてなし」基準を作り出していくことも必要。	学生による観光ガイドの育成、観光資源マップの作成、既存の観光QRコードの活用など	新たな商店街集積地は必要と考える。特に観光客の誘致という意味では、飲食店と地元の新鮮な魚介を買うことができる魚市場のような拠点が必要と感じている。
16	学校法人文理開成学園	鈴木 淳	規制緩和、ステークホルダー間の調整、呼び水の設定、民間セクターに対する各種インセンティブ付与（TAXベネフィット等）	大胆な発想、スピーディな行動、サステナブルな計画と実行	確かな見識とリーダーシップ、そして実行力を有する市長や市議会議員の選出と応援	横濱・前原海岸にて90年近い歴史を刻む私立学校として、同エリア振興には可能な限りコミットしたいと考えています。また、運動会は例年、前原海岸で行っており、最初の競技は、紅白チームに分かれての「ゴミ拾い競争」であります。こういったことを続けていくと共に、地域に対して一部校舎を開放する等のコミュニティセンターとしての役割も積極的に検討したいと考えてます。	利用者が何を求めているのか、そのニーズ次第と考えます。利用者の利便性が重要なら後者が優位となるでしょうし、あちこち見て回りたいならば前者に軍配が上がるでしょう。日本の高齢者がターゲットなら、後者がベターかもしれません。海外からの来訪者がターゲットなら、前者がベターでしょう。私は、わが国及び鴨川は、海外に開かれなければ生き残れないと考えていますので、前者を選択します。
17	地域おこし協力隊	橋詰 良子	全体を円滑に進める調整役、市民や企業間の橋渡しとなる潤滑油的な役割を担っていただくのが良い気がします。具体的には、市民や民間企業が活動しやすい制度・環境づくり、市民・民間企業へ理解を求める働きかけ、広く意見を募り取り入れていくしくみづくりなど。	人を集め、経済的にリードして下さる存在であってほしいと思います。地域性を考慮した魅力づくりに配慮していただきつつ、市民や地域との連携も考慮したビジネス展開を考えていただくと嬉しいです。	活性化への理解と高い意識を持って協力いただけるサポーターになっていただければ。地域を深く知っているからこそそのアイデアだけでなく、ときに厳しく指摘いただけると心強いように思います（受け入れる体制があつてのことですが）。	web・紙等の広報資料の制作など、広報関連でしたらお手伝いできることがあるかもしれません。その他イベントやボランティアについては、できる範囲で協力させていただければと思っています。	今後受け継いでいきたい地域ならではの文化・伝統が、いま現在見当たらないのであれば、利便性も考慮して、新たに商店集積地をつくる（考え②）が良いように思います。プロジェクトの方向性によりますので一概には言えません。
18	安房土木事務所	吉田 良治	・来訪者へのアンケート調査（宿泊客、日帰り客）：他県及び県内観光客のニーズの把握（各シーズン及び年間を通して） ・地元（自分達）が美しい環境を守っている意識の啓発：美化活動等（海岸清掃・花壇の植栽等）の企画及び助成	・来訪者へのアンケート調査（宿泊客、日帰り客）：他県及び県内観光客のニーズの把握（各シーズン及び年間を通して） ・地元（自分達）が美しい環境を守っている意識の啓発：美化活動等（海岸清掃・花壇の植栽等）の企画及び助成	・ボランティア活動への参画（海岸清掃・花壇の植栽等）	・海岸管理者としては、具体的な構想が固まった段階で、堤防のバリアフリー対策（車いすの海岸への乗り入れ斜路）及び堤防の景観対策等の取り組みが考えられる。	・①では、市道が自然石を使用した舗装となっており散策するのは良いと思われるが、海岸から2本奥の通りであり集客が難しいと思慮され、大きな構想となるが海岸通りを整備し道路添いにおしゃれな店が出店されれば、「エリアマネジメントセンター」や「交流広場」間での楽しみがあり集客できると思います。